

各 位

2025 年 12 月 3 日
株式会社リットーミュージック

追悼オジー・オズボーン
オジーの歴史と楽曲にまつわるストーリー
『ブラック・サバス&オジー・オズボーン〜楽曲に秘められた物語 Special Edition』 本日発売



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『ブラック・サバス&オジー・オズボーン〜楽曲に秘められた物語 Special Edition』を、2025 年 12 月 3 日に発売しました。

本書は世界最初のヘヴィ・メタル・バンドであるブラック・サバス、同バンドの初代ボーカリストであるオジー・オズボーンのソロ活動時代の歴史、そして楽曲の背景や秘話が掲載された 2020 年刊の洋書『Black Sabbath & Ozzy Osbourne (The Stories Behind the Songs)』の翻訳版です。

2025 年の 7 月 22 日に亡くなったオジー・オズボーン追悼の意を込めて、同書からオジーと強く関連した箇所だけを抜粋した Special Edition が本書となり、発売日である 2025 年 12 月 3 日は、オジーが存命であれば彼の 77 歳の誕生日にあたります。

豊富な写真、資料、そしてオジー本人や関係者のコメントも交えつつ、彼が辿った道のり、名曲にちなんだエピソードが綴られていきます。

今回は同書の 2025 年後半からの刷で追加された、ブラック・サバス、そしてオジーの最後のライブとなった 2025 年 7 月のコンサート『Back to the Beginning』の模様など 2020~2025 年に関する記事も追加された特別編集版であり、オジーのキャリアすべてを 1 冊で振り返ることができます。

※原書『Black Sabbath & Ozzy Osbourne (The Stories Behind the Songs) 』はポール・エリオット著『Black Sabbath: The Vault』とキャロル・クラーク著『Ozzy Osbourne』の素材を組み合わせたものです。

※原書に登場しないため、オジーのソロ名義のスタジオ・アルバム『The Ultimate Sin（罪と罰）』『Down to Earth』『Under Cover』『Black Rain』『Scream』『Ordinary Man』『Patient Number 9』の楽曲に関する記述はほぼありません。



オジーが歌った曲の知られざる話を本人、関係者が語る



ブラック・サバス結成前の学生時代からオジーを振り返る



ブラック・サバス～ソロ、各時代の写真も豊富に掲載

■書誌情報

書名：ブラック・サバス&オジー・オズボーン～楽曲に秘められた物語 Special Edition

著者：ポール・エリオット(著)/キャロル・クラーク(著)/川嶋未来 (訳)

定価：3,300 円 (本体 3,000 円+税 10%)

発売：2025 年 12 月 3 日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/product/detail/3125217115/>

CONTENTS

- ・それは世界を揺るがすサウンドだった
- ・初期
- ・1970 年代
 - ・『黒い安息日(BLACK SABBATH)』(1970 年)
 - ・『パラノイド』(1970 年)
 - ・プロフィール:トニー・アイオミ
 - ・『マスター・オブ・リアリティ』(1971 年)
 - ・『VOL. 4』(1972 年)
 - ・プロフィール:オジー・オズボーン
 - ・『血まみれの安息日(SABBATH BLOODY SABBATH)』(1973 年)
 - ・『サボタージュ』(1975 年)
 - ・プロフィール:ギーザー・バトラー
 - ・『テクニカル・エクスタシー』(1976 年)
 - ・『ネヴァー・セイ・ダイ!』(1978 年)
 - ・プロフィール:ビル・ワード
- ・1980 年代
 - ・『ブリザード・オブ・オズ～血塗られた英雄伝説(BLIZZARD OF OZZ)』(1980 年)
 - ・『ダイアリー・オブ・ア・マッドマン』(1981 年)
 - ・『月に吠える(BARK AT THE MOON)』(1983 年)
 - ・『ノー・レスト・フォー・ザ・ウィキッド』(1988 年)
- ・1990 年代
 - ・『ノー・モア・ティアーズ』(1991 年)

- ・『オズモシス』(1995 年)
- ・2000 年以降
- ・『13』(2013 年)
- ・始まりと終わり (2020 年～2025 年)
- ・謝辞

PROFILE

キャロル・クラーク

『Melody Maker』誌の元ニュース編集者。何十年にもわたりヘヴィなサウンド系で著名な音楽ライターとして活躍。ウェンブリーで開催された Live Aid コンサートの取材で、業界団体 PPA から年間最優秀ジャーナリスト賞を受賞。著書に『Pogue Mahone: Kiss My Arse』、『The Saga of Hawkwind』、『Madonna Style』、『Vintage Tattoos』など多数。2010 年に死去。

ポール・エリオット

『MOJO』『Classic Rock』『Q』『Kerrang』などの雑誌で活躍する音楽ライター。ブラック・サバスへは何度もインタビューを行っている。

川嶋 未来 (かわしま みらい)

ブラック・サバスのデビュー・アルバムより約 1 ヶ月早く生まれ、ヴェノムに人生を狂わされ早 40 年。エクストリーム・メタル・バンド、Sigh のヴォーカル／フルート／シンセ等担当。

【株式会社リットーミュージック】<https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド＆レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー＆クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア＆コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』や T シャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等の Web サービスも人気です。

【インプレスグループ】<https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp